

森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス(東京・麻布台ヒルズ)
「Light Sculpture - Flow」の作品空間を 7 月 8 日(水)より再オープン
新シリーズ作品群を展示する特別展「宇宙の非対称性について」を開催中

森ビル株式会社とアートコレクティブ・チームラボが手がける、東京・麻布台ヒルズの[森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス](#)(以下、チームラボボーダレス)では、「Light Sculpture - Flow」を再オープンするとともに、新たな 2 つのシリーズ「Asymmetric Existence / 非対称性存在」と「Chromatic Existence / 色彩性存在」の作品群を公開しました。

チームラボボーダレスでは、「Light Sculpture - Flow」再オープンを記念して、特別展「宇宙の非対称性について」を開催中です。会期は 10 月 8 日(木)までを予定しており、会期中は今回公開した新たな作品群を体験することができます。

■チームラボ代表 猪子 寿之のコメント

「Light Sculpture - Flow」の再オープンを記念して、特別展「宇宙の非対称性について」を開催します。「Light Sculpture - Flow」は、流れ続ける光線群が空間の中で秩序を構成するとき、そこにひとつの彫刻が現れます。それは、物体としての彫刻ではなく、光の流れと秩序によって立ち上がる、物質的な境界面を持たない空間的存在です。

今回の特別展は、「Light Sculpture - Flow」の新たな 2 つのシリーズ、「Chromatic Existence」と「Asymmetric Existence」を展示しています。

「Chromatic Existence」のシリーズは、色が空間の中で流れ、色そのものが秩序を構成するとき、そこに色彩の彫刻が立ち上がります。

「Asymmetric Existence」のシリーズは、実空間にのみ現れ、ミラーには映らない光の彫刻と、ミラーの中のみ現れ、実空間には存在しない光の彫刻が、一体となったひとつの彫刻です。彫刻を、実空間に閉じた物体から、実空間と鏡像空間を横断し、認識の中で統合される存在へと拡張する試みです。この存在は、虚構でも錯覚でもなく、エネルギーを持った実在する存在です。存在というものは、環境と切り離せないし、我々の認識とも切り離せない。私たちは世界を外から見ているのではなく、その連続体の中にいて、その中で存在を認識しているのです。そのような体験をしてもらえればと思います。



■特別展「宇宙の非対称性について」で展示している作品群

Chromatic Existence / 色彩性存在

色が空間の中で流れ、色そのものが秩序を構成するとき、そこに色彩の彫刻が立ち上がる。

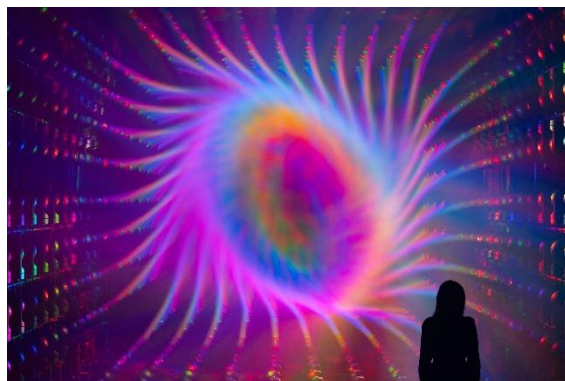
ここでの彫刻は、物体としての彫刻ではなく、色の秩序によって生み出される、物質的な境界面を持たない空間的存在である。

Chromatic Existence



チームラボ《Chromatic Existence》© チームラボ

Crystal of the Sky / 空の結晶



チームラボ《空の結晶》© チームラボ

Dark Existence within Chromatic Order / 色彩性秩序に宿る闇の存在



チームラボ《色彩性秩序に宿る闇の存在》© チームラボ

Asymmetric Existence / 非対称性存在

Asymmetric Existence は、実空間にのみ現れ、ミラーには映らない光の彫刻と、ミラーの中にのみ現れ、実空間には存在しない光の彫刻が、一体となったひとつの彫刻である。

本来、ミラーは実空間を対称的に映す。しかしここでは、実空間と鏡像空間は、対称関係にはない。二つの光の彫刻は、それぞれ異なる空間に非対称に現れながら、鑑賞者の認識の中で、ひとつの彫刻的存在として立ち上がる。

ミラーの面は、単に実空間を対称的に反射する境界面ではなく、実空間と鏡像空間に現れた存在を接続する場となる。Asymmetric Existence は、彫刻を、実空間に閉じた物体から、実空間と鏡像空間を横断し、認識の中で統合される存在へと拡張する試みである。

Asymmetric Cosmos



チームラボ《Asymmetric Cosmos》© チームラボ

Fixed Star



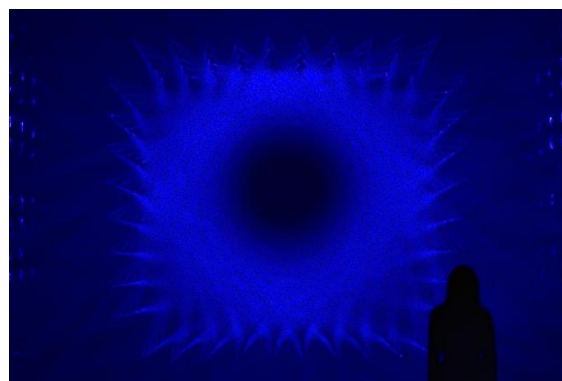
チームラボ《Fixed Star》© チームラボ

Flower in the In-Between / あわいの花



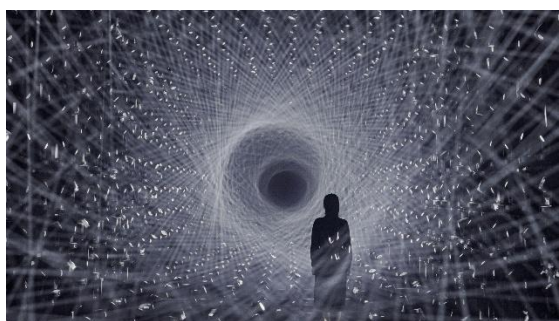
チームラボ《あわいの花》© チームラボ

Observer-Dependent Dark Existence / 観測者依存の闇の存在



チームラボ《観測者依存の闇の存在》© チームラボ

Tunnel into the Mirror Universe



チームラボ《Tunnel into the Mirror Universe》© チームラボ

Beyond Borders

追われるカラス、追うカラスも追われるカラス – Through the Asymmetric Universe / Crows are Chased and the Chasing Crows are Destined to be Chased as well – Through the Asymmetric Universe



チームラボ《追われるカラス、追うカラスも追われるカラス – Through the Asymmetric Universe》© チームラボ

Light Sculpture – Flow

海の渦の内側と外側は、同じ水でできている。そこに物質的な違いはない。それにもかかわらず、なぜ私たちは海の渦に一つの存在を感じ、そこに生命すら感じるのか。

渦の内側と外側を分けているのは、物質の違いではなく、秩序の違いである。流れの中に秩序が生まれるとき、物質的な差異や境界面がなくても、そこに存在が立ち上がる。

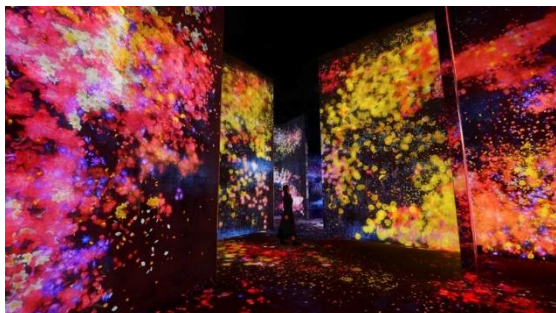
Light Sculpture – Flow では、流れ続ける光線群が空間の中で秩序を構成するとき、そこにひとつの彫刻が現れる。

ここでの彫刻は、物体としての彫刻とは異なる。物質的な境界面によってではなく、流れと秩序によって立ち上がり、人々の存在やふるまいの影響も受けながら、動的に変化する。身体との境界も曖昧な空間的存在である。

Light Sculpture – Flow は、彫刻を、固定された物体から、流れと秩序によって立ち上がる、物質的な境界面を持たない空間的存在へと拡張する試みである。

■2024 年 2 月のオープンから体験が拡張した作品(一部)

花と人、コントロールできないけれども共に生きる /
Flowers and People, Cannot be Controlled but Live Together



チームラボ《花と人、コントロールできないけれども共に生きる》© チームラボ

The Way of the Sea: 虚空の宇宙 /
The Way of the Sea: Cosmic Void



チームラボ《The Way of the Sea: 虚空の宇宙》
© チームラボ

光の蔦に咲く朝顔：散り、流れに還る / Morning Glories on
Vines of Light: Scattering, Returning to the Flow



チームラボ《光の蔦に咲く朝顔：散り、流れに還る》
© チームラボ

百菊：散り、流れに還る / A Hundred
Chrysanthemums: Scattering, Returning to the Flow



チームラボ《百菊：散り、流れに還る》© チームラボ

反転無分別：闇の存在 / Reversible Rotation:
Darkness Existence



チームラボ《反転無分別：闇の存在》© チームラボ

境界のない群蝶：流れに還る / Flutter of Butterflies
Beyond Borders: Returning to the Flow



チームラボ《境界のない群蝶：流れに還る》© チームラボ

連続する軌跡: One Stroke /
Continuous Trajectories: One Stroke



チームラボ《連続する軌跡: One Stroke》© チームラボ

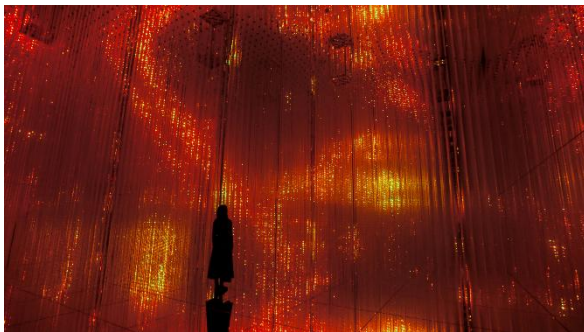
追われるカラス、追うカラスも追われるカラス: 虚空の宇宙
Crows are Chased and the Chasing Crows are
Destined to be Chased as well: Cosmic Void



チームラボ《追われるカラス、追うカラスも追われるカラス: 虚空の宇宙》© チームラボ

追われるカラス、追うカラスも追われるカラス: Crystal
World /

Crows are Chased and the Chasing Crows are
Destined to be Chased as well: Crystal World



チームラボ《追われるカラス、追うカラスも追われるカラス: Crystal World》© チームラボ

Infinite Crystal World



チームラボ《Infinite Crystal World》© チームラボ

チームラボボーダレスについて

チームラボボーダレスは、アートコレクティブ・チームラボの境界のないアート群による「地図のないミュージアム」です。アートは部屋から出て移動し、他の作品と関係し影響を受け合い、他の作品との境界線がなく、時には混ざり合います。チームラボボーダレスはそのような作品群による境界なく連続する1つの世界であり、来館者は境界のないアートに身体ごと没入し、「境界なく連続する1つの世界」のなかを「さまよい、探索し、発見」する唯一無二の体験ができます。

さらに、チームラボボーダレスは、米国の国際的なニュース雑誌、TIME 誌の「World's Greatest Places 2024 (世界で最も素晴らしい場所 2024 年度版)」に選ばれています。

《ミュージアム概要》

施設名称 : 森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス

<https://www.teamlab.art/jp/e/tokyo/>

所在地 : 麻布台ヒルズ ガーデンプラザ B B1(東京都港区虎ノ門 5 丁目 9)

(麻布台ヒルズ <https://www.azabudai-hills.com>)

開館時間 : 8:30 - 21:00

*最終入館は閉館の 1 時間前

*開館時間に変更になる場合がございます。公式ウェブサイトをご確認ください。

*7.31(金)は 17 時閉館(最終入館 16 時)、8.8~8.15 は 22 時閉館(最終入館 21 時)

休館日 : 7.15(水)、8.25(火)、9.8(火)

*変更になる場合がございます。公式ウェブサイトをご確認ください。

チケット価格 : 大人(18 歳以上):3,600 円~

学生サマーパス(大学生・大学院生・短大生・専門学校生):3,000 円

学生サマーパス(中学生・高校生):2,000 円

子ども(4 - 12 歳):1,500 円

3 歳以下:無料

障がい者割引:1,800 円~

*事前日時指定予約制です。

*学生サマーパスは 7 月 18 日(土)~9 月 18 日(金)の期間限定で利用可能なパスです。販売期間は公式ウェブサイトをご確認ください。

*大人と障がい者割引につきましては変動価格制を導入しています。

日時別の価格をご確認の上、日時指定チケットをお買い求めください。

*現地での購入の場合、上記価格に+200 円となります。

チケット購入 <https://www.teamlab.art/jp/e/tokyo/>

プレスキット <https://www.dropbox.com/sh/ktiauv5xq8s0jzr/AAASjm3y4EKWTqRidKoIuCM5a?dl=0>

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス 広報事務局

(共同ピーアール株式会社内)

担当:村上(090-5553-2117)、星島(070-4303-7249)、安田(090-7909-5164)

EMAIL: borderless-pr@kyodo-pr.co.jp